

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社 上場取引所 東
コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員会長兼社長 (氏名) 乙部 辰良
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 大和田 徹 TEL 03(6229)0881
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	30,916	10.8	3,710	△5.0	2,050	△4.7
2024年3月期第1四半期	27,908	12.7	3,906	39.5	2,152	51.8

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,185百万円 (△8.1%) 2024年3月期第1四半期 2,379百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	82.60	—
2024年3月期第1四半期	86.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	213,892	41,734	19.5
2024年3月期	210,265	39,995	19.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 41,609百万円 2024年3月期 39,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,000	6.1	9,300	12.9	1,800	24.1	72.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 一、 除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	24,820,530株	2024年3月期	24,820,530株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	142株	2024年3月期	142株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	24,820,388株	2024年3月期1Q	24,820,418株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結損益計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

※ 当社Webサイトに決算情報の補足説明資料を掲載しておりますので、ご参照ください。

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 当社グループの経営成績

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	対前年同期 増減率 (%)
経常収益	27,908	30,916	10.8
経常利益	3,906	3,710	△5.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,152	2,050	△4.7

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期に比べ3,007百万円増加し、30,916百万円（前年同期比10.8%増加）となりました。一方、生命保険事業における責任準備金繰入額の増加などにより、経常利益は前年同期に比べ196百万円減少し3,710百万円（同5.0%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ101百万円減少し2,050百万円（同4.7%減少）となりました。

生命保険事業においては、医療保険の一部について実施していた再保険の出再比率変更などによる責任準備金戻入額を一過性の要因として前年同期に計上していました。当第1四半期連結累計期間にはその一過性要因がないことから、同事業のセグメント利益は前年同期を下回りましたが、団体信用生命保険及び個人保険ともに保有契約件数の堅調な増加により、一過性要因の影響を除く保険収支は前年同期に比べ547百万円増加するなど堅調に推移しており、業容は着実に拡大しております。また、損害保険事業・少額短期保険事業についても着実な業容拡大を続けています。

なお、参考情報として、生命保険事業における特別勘定（※）に係る収益を除いた経常収益について、下記に記載しております。

（※）変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

<参考情報>

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	対前年同期 増減率 (%)
特別勘定に係る収益を除いた経常収益	27,683	29,827	7.7

② セグメントごとの経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	経常収益			セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益)		
	第1四半期連結累計期間		増減率 (%)	第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	2024年3月期	2025年3月期		2024年3月期	2025年3月期	
損害保険事業	9,820	10,800	10.0	1,432	1,767	23.4
生命保険事業	9,919	11,581	16.8	753	253	△66.4
少額短期保険事業	8,219	8,586	4.5	98	179	82.5
報告セグメント計	27,958	30,969	10.8	2,284	2,200	△3.7
セグメント間消去又は調整	△49	△53	—	△132	△150	—
四半期連結損益計算書計上額	27,908	30,916	10.8	2,152	2,050	△4.7

(注) セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

SBI損害保険株式会社は、中古車販売店「ガリバー」を運営する株式会社IDOMと連携し、事故により同社の修理工場へ入庫された自動車の修理内容や進捗状況をスマートフォン等で適時確認出来るシステムの導入に取り組み、自動車修理プロセスの透明性を確保する態勢構築に努めました。また、株式会社仙台銀行の預金口座保有のお客様を対象に、一般に比べ割安な保険料でご加入いただくことが可能となる団体保険「よりそう介護保険(正式名称:団体総合生活補償保険)」の募集を行い、パートナー企業とのアライアンスを通じた顧客基盤の拡大にも取り組みました。こうした取り組みの結果、2024年6月末の保有契約件数(団体がん保険の被保険者数を含む)は1,288千件(前年度末比1.5%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加などにより、前年同期比10.0%増加の10,800百万円となりました。セグメント利益は、雹(ひょう)災による自動車保険の保険金支払いが発生しましたが、増収効果に加え、異常危険準備金(※)の取り崩しが前年同期に比べ増加したことなどにより、前年同期比23.4%増加の1,767百万円となりました。

(※) 異常危険準備金は、保険業法施行規則の要請により、損害保険会社及び外国損害保険会社が異常災害による損害の填補に充てるために責任準備金の内訳の一つとして積み立てるものです。

(生命保険事業)

SBI生命保険株式会社は、主力商品である就業不能保険「働く人のたより」が複数の保険比較サイトのランキングにおいて1位を獲得するなど、高い評価を獲得しました。また、昨年度よりコールセンターにおいて運用を開始している生成AI等のテクノロジーをバージョンアップすることにより、オペレーターの教育期間の短縮を図りつつ、これまで以上にお客様とのスムーズなやり取りを実現するなど、DX推進によるお客様の更なる利便性の向上と業務の効率化に取り組みました。こうした取り組みの結果、2024年6月末の保有契約件数(団体信用生命保険の被保険者数を含む)は550千件(前年度末比4.8%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加などにより、前年同期比16.8%増加の11,581百万円となりました。セグメント利益については、前述のとおり前年同期の一過性要因による責任準備金の戻入が当第1四半期連結累計期間にはないことから責任準備金繰入額が増加し、前年同期比66.4%減少の253百万円となりました。なお、団体信用生命保険及び個人保険ともに保有契約件数は堅調に増加しており、一過性要因による影響を除く保険収支は前年同期に比べ547百万円増加するなど業容は着実に拡大しております。

(少額短期保険事業)

SBIいきいき少額短期保険株式会社は、ペット保険の保険金支払査定へのAIの導入により、保険金支払の自動査定を開始し、処理件数の増加や処理時間の大幅な削減を実現するなど、DXの推進による業務効率化に取り組みました。また、SBI日本少額短期保険株式会社は、保険契約管理システムと家賃債務保証サービスを提供する企業の保証管理システムとの連携先の拡大に努め、賃貸住宅に入居されるお客様の利便性向上と同社の代理店である不動産管理会社の業務効率化に取り組みました。こうした取り組みの結果、2024年6月末の保有契約件数は1,033千件(前年度末比0.7%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加などにより、前年同期比4.5%増加の8,586百万円となりました。セグメント利益は、この増収効果に加え、普通責任準備金(※)の積み立てが前年同期に比べ減少したことなどにより、前年同期比82.5%増加の179百万円となりました。

(※) 普通責任準備金は、決算日後の保険金等の支払義務を果たすために積み立てる責任準備金の一つであり、未経過保険料及び保険料積立金の合計額と初年度収支残を比較し、大きい方の金額を普通責任準備金として積み立てます。初年度収支残は、当期の収入保険料から、当該保険契約のために支出した保険金等及び当期の事業費を控除して算出されます。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、213,892百万円（前年度末比3,627百万円増加）となりました。主な勘定残高は、有価証券149,239百万円（同5,589百万円増加）、現金及び預貯金31,056百万円（同2,485百万円減少）であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、172,158百万円（同1,888百万円増加）となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金145,318百万円（同1,784百万円増加）であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当により446百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により2,050百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が121百万円増加したことなどにより、41,734百万円（同1,738百万円増加）となりました

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の生命保険事業のセグメント利益は前年同期を下回りましたが、通期の同事業のセグメント利益は、足元の順調な業容拡大に加え、当年度末において保険業法施行規則第69条第5項の規定に基づき積み立てた責任準備金について、将来収支の改善が見込まれるため一部取り崩しを想定していることから、前年度と同水準以上での着地を見込んでおります。また、通期の連結業績予想については、前述の責任準備金の取り崩しを含めて策定していることや、当第1四半期連結累計期間の連結業績が概ね当初予定どおりに推移していることから、2024年5月9日公表の「2024年3月期決算短信」に記載いたしました2025年3月期の連結業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	33,542	31,056
買入金銭債権	717	2,667
金銭の信託	186	289
有価証券	143,649	149,239
貸付金	129	149
有形固定資産	794	765
建物	446	439
リース資産	1	1
その他の有形固定資産	347	324
無形固定資産	7,534	7,458
ソフトウェア	4,000	3,993
のれん	2,928	2,878
その他の無形固定資産	604	586
代理店貸	164	74
再保険貸	8,541	8,399
その他資産	13,909	12,484
繰延税金資産	396	608
支払承諾見返	700	700
貸倒引当金	△0	△0
資産の部合計	210,265	213,892
負債の部		
保険契約準備金	143,533	145,318
支払備金	23,113	22,490
責任準備金	114,332	115,592
契約者配当準備金	6,087	7,236
代理店借	447	314
再保険借	7,284	7,880
その他負債	16,990	16,535
退職給付に係る負債	17	17
価格変動準備金	1,097	1,130
繰延税金負債	198	261
支払承諾	700	700
負債の部合計	170,270	172,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,375	8,375
資本剰余金	32,061	32,061
利益剰余金	6,000	7,604
自己株式	△0	△0
株主資本合計	46,436	48,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,552	△6,430
その他の包括利益累計額合計	△6,552	△6,430
非支配株主持分	110	124
純資産の部合計	39,995	41,734
負債及び純資産の部合計	210,265	213,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
経常収益	27,908	30,916
損害保険事業	9,786	10,769
保険引受収益	9,333	10,352
正味収入保険料	9,043	9,967
積立保険料等運用益	5	6
支払備金戻入額	219	378
責任準備金戻入額	64	—
資産運用収益	450	415
その他経常収益	2	2
生命保険事業	9,915	11,577
保険料等収入	7,395	9,601
保険料	5,420	6,644
再保険収入	1,974	2,957
資産運用収益	2,504	1,805
利息及び配当金等収入	292	561
有価証券売却益	6	54
為替差益	6	100
その他運用収益	0	0
特別勘定資産運用益	2,199	1,088
その他経常収益	15	170
少額短期保険事業	8,206	8,568
保険料等収入	8,122	8,369
資産運用収益	0	0
その他経常収益	84	199
経常費用	24,001	27,205
損害保険事業	8,136	9,103
保険引受費用	5,311	6,232
正味支払保険金	5,333	6,039
損害調査費	1,003	991
諸手数料及び集金費	△1,025	△1,077
責任準備金繰入額	—	278
その他保険引受費用	0	0
資産運用費用	396	307
営業費及び一般管理費	2,427	2,563
その他経常費用	1	0

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
生命保険事業	7,668	9,650
保険金等支払金	5,850	6,873
保険金	1,511	2,008
年金	242	188
給付金	319	375
解約返戻金	815	854
その他返戻金	328	385
再保険料	2,632	3,060
責任準備金等繰入額	64	904
支払備金繰入額	64	—
責任準備金繰入額	—	904
資産運用費用	274	348
支払利息	0	1
有価証券売却損	0	0
金融派生商品費用	207	302
その他運用費用	66	43
事業費	1,293	1,335
その他経常費用	185	188
少額短期保険事業	8,051	8,304
保険金等支払金	5,099	5,450
責任準備金等繰入額	267	118
事業費	2,675	2,726
その他経常費用	9	9
その他	145	147
経常利益	3,906	3,710
特別利益	21	—
新株予約権戻入益	21	—
特別損失	30	33
固定資産等処分損	0	0
価格変動準備金繰入額	30	32
契約者配当準備金繰入額	1,228	1,576
税金等調整前四半期純利益	2,669	2,099
法人税及び住民税等	300	187
法人税等調整額	206	△152
法人税等合計	506	35
四半期純利益	2,163	2,064
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,152	2,050

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,163	2,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	216	121
その他の包括利益合計	216	121
四半期包括利益	2,379	2,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,368	2,171
非支配株主に係る四半期包括利益	10	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書に関する注記)

生命保険事業のその他経常収益の内訳は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
支払備金戻入額	－百万円	163百万円
責任準備金戻入額	11	－
その他の経常収益	4	7
計	15	170

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	9,786	9,915	8,206	27,908	－	27,908
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	33	3	12	49	△49	－
計	9,820	9,919	8,219	27,958	△49	27,908
セグメント利益(注) 3	1,432	753	98	2,284	△132	2,152

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△132百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	10,769	11,577	8,568	30,916	—	30,916
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	31	3	18	53	△53	—
計	10,800	11,581	8,586	30,969	△53	30,916
セグメント利益(注) 3	1,767	253	179	2,200	△150	2,050

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△150百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	465百万円	448百万円
のれんの償却額	50	50